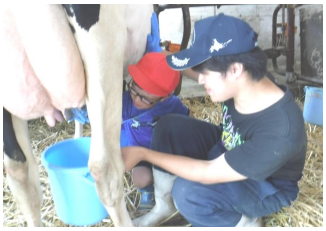
どんぐり村のこみ・すく通信は、更別村のホームページ、Facebookに掲載されています

どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年 8月 13日発行　令和6年度 第10号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局（教育委員会）

みんなの学校応援団の活動を紹介〈その6〉
酪農を本物から学ぶ

【7月17日】「更別農業高校牛舎を訪問」



更小、上更小３年生が更別農業高校の牛舎を訪問し、更別農業高校畜産分会の３年生が講師を務めてくれました。

「牛の体温」や「牛の寿命」「牛の胃の数」など、クイズ形式にして、楽しく学べるように工夫されていました。また、牛の餌や掃除の仕方などを実際に見せてくれました。最後に乳の手しぼり体験をさせてもらいました。「牛の乳は少し温かかった」と感想をもった子もいました。

【7月19日】「地域の酪農家の方が講師」

更別小に上更別小の３年生も合流。宿田恵子さんが来校し、子どもたちの質問に答える形で酪農の仕事を分かりやすく教えてくださいました。一番気をつけていることは牛が病気にならないこと。写真と動画を交えて今現在の酪農の仕事を学びました。

更中３年生 保育実習

７月１１日、更別中央中学校３年生が家庭科で更別幼稚園・どんぐり保育園を訪れ、保育体験をしました。幼児とのふれあいを通して幼児の特性を知ることが目的です。

園児はうれしそうにし、中学生も最高の笑顔で接していました。

更中1年生 遠足
清らかな伏流水を利用した釣り堀で

７月11日、更別中央中学校１年生が、遠足でファミリーパークさらべつを訪れ魚釣り体験をしました。

更別の自然や施設を活用し、ふるさとの良さを改めて実感することが目的です。初めて釣りをする生徒が多く、釣り針にエサをつけたり釣った魚を針からはずしたりするのに苦労していました。釣った魚は、学校に戻って班ごとにさばき、ホイル焼きにして食べました。貴重な体験をしながら地域の良さを再確認できたのではないかと思います。

地域の方々から雑巾の寄贈

シルバーハウジング、コムニの里デイサービス、個人等の十数名がボランティアで雑巾を縫ってくださり、小学校や幼稚園・保育園へ寄贈していただきました。ありがとうございました。